三菱地所物流リート投資法人

2026年11月19日

各　　位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区丸の内一丁目６番５号
三菱地所物流リート投資法人
代表者名　　執行役員　　横田　拓哉
（コード番号　3481）
資産運用会社名
三菱地所投資顧問株式会社
代表者名　　取締役社長執行役員　　増田　哲弥
問合せ先　　物流リート部長　　横田　拓哉
TEL：03-3218-0030

# 借入金の期限前弁済に関するお知らせ

三菱地所物流リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）が資産の運用を委託する三菱地所投資顧問株式会社は、借入金の期限前弁済（以下「本期限前弁済」といいます。）に関して、下記のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

記

１．本期限前弁済の内容

（１）期限前弁済金額
130百万円

（２）期限前弁済日
2026年11月24日

（３）期限前弁済資金
自己資金

２．本期限前弁済を行う借入金の内容

| 区分<br>（注２） | 借入先 | 借入金額<br>（百万円） | 利率 | 借入<br>実行日 | 元本<br>弁済日 | 元本弁済<br>方法 | 担保 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 短期 | 株式会社<br>みずほ銀行 | 130 | 基準金利<br>＋0.0700%<br>（変動金利） | 2026年<br>７月24日 | 2027年<br>７月24日 | 期限一括<br>弁済 | 無担保<br>無保証 |

（注１）借入金の詳細については、2026年７月22日付「資金の借入れに関するお知らせ」をご参照ください。

（注２）「短期」又は「短期借入金」とは借入実行日から元本弁済日までの期間が１年以下の借入れをいいます。以下同じです。

３．今後の見通し

本期限前弁済は、本投資法人が2026年10月19日付「2026年８月期決算短信（ＲＥＩＴ）」で公表した2027年２月期（2026年９月１日～2027年２月28日）における運用状況の予想の前提条件に含まれているため、業績予想の変更はありません。

４．その他

本期限前弁済に関わるリスクに関して、2026年５月28日に提出した有価証券報告書の「第一部 ファンド情報　第１ ファンドの状況　３ 投資リスク」に記載の内容から変更はありません。

三菱地所物流リート投資法人

＜ご参考＞本期限前弁済後の借入金等の状況

（単位：百万円）

| | 本期限前弁済実行前 | 本期限前弁済実行後 | 増減 |
|---|---|---|---|
| 短期借入金 | 130 | － | ▲130 |
| 長期借入金（注） | 115,949 | 115,949 | － |
| 借入金合計 | 116,079 | 115,949 | ▲130 |
| 投資法人債 | 6,700 | 6,700 | － |
| 借入金及び投資法人債の合計 | 122,779 | 122,649 | ▲130 |

（注）長期借入金とは、借入実行日から元本弁済日までの期間が１年超の借入れをいいます。

以上

＊本投資法人のホームページアドレス：https://mel-reit.co.jp/

**■三菱地所グループの物流施設事業について**

三菱地所グループは、物流施設の開発・運営にとどまらず、物流拠点や多様なプレーヤーをつなぎ、物流全体の最適化を支える「物流ネットワークデベロッパー」を目指しています。

三菱地所グループの物流事業では、三菱地所、東京流通センター、三菱地所設計、三菱地所投資顧問及び本投資法人が連携し、「用地取得・開発」「運営・管理」「保有・アセットマネジメント」のすべてのフェーズに対応する一貫体制を構築しています。その強みを活かし、次世代モビリティに対応した高速道路 IC 直結の「次世代基幹物流施設」、三菱地所の物流施設シリーズ「ロジクロス」、半世紀超にわたり首都圏の物流を支えてきた「東京流通センター」を有機的につなぎ、幹線輸送から地域輸配送、ラストマイルまでを支える、強靭かつ持続可能な物流基盤の構築を推進しています。また、各物流拠点をイノベーションの実証・実装の場として活用し、自動運転をはじめとする次世代モビリティや先進技術の導入、多様なパートナーとの協創を通じて、輸送・保管・荷役の効率化と新たな物流価値の創造にチャレンジしています。

今後も、「貸す」から「つなぐ」へと進化する物流事業を通じて、拠点と拠点、人とモノ、企業と企業を結び、持続可能な物流インフラの実現と物流の未来を支える新たな価値の創造を推進してまいります。